

科目名	授業形態	単位数	担当教員名
教育実習事前・事後指導(幼)	演習	1	田中 麻紀子 ・ 園田 雪恵
【授業のテーマ及び到達目標】			
この授業は、教育実習の目的の達成をより確かなものにするために行うものである。幼稚園教育実習の事前と事後に行う授業を受講することにより、これまで学んできた理論を実践にいかすことができるようにする。各自の課題を確認し、教育力の向上を目指す。実習終了後は、学生自身の振り返りと、実習先の評価から、幼稚園教諭として現場に赴くための課題を展望する。			
【授業の概要】			
事前指導の内容は、観察実習および責任実習に必要な学習をしていく。まず、観察実習・責任実習の流れを把握し、設定保育における指導案立案について学ぶ。観察実習では、子どものかかわりから子ども理解の視点に立ち、幼稚園教諭の保育を観察する。責任実習では、指導案を立案し、保育実践を行う。事前指導の中で、十分な成果を修められるよう、幼稚園実習の準備をしていく。事後指導の内容は、幼稚園実習終了後に、実習で学んだことを振り返る。また、後期には、個人面談を行い、今後の学習課題を検討する。			
全体の授業計画・内容			
1. 幼稚園教育実習についての意義・目的・内容の理解			
2. 幼稚園教育実習の流れと事務手続き			
3. 幼稚園教育実習の心構え(守秘義務と実習のマナー)			
4. 実習課題の明確化			
5. 指導案立案から模擬保育への展開			
6. 各自で作成した指導案作成と保育実践(3歳児)			
7. 各自で作成した指導案作成と保育実践(4歳児)			
8. 各自で作成した指導案作成と保育実践(5歳児)			
9. ①幼稚園教育実習に必要な各種書類の準備や実習にむけての手続きの説明 ②実習園とのオリエンテーションについての説明			
10. 実習園へのお礼状の作成			
11. 幼稚園教育実習の振り返りレポート作成(自己評価・反省)			
12. 幼稚園教育実習の振り返りレポート作成(実習園報告書)			
13. 幼稚園教育実習の振り返りレポート作成に基づいた報告会			
14. 幼稚園教育実習の実習園からの成績評価をふまえた面談			
15. 幼稚園教育実習の総括・評価・今後の学習課題の検討			
【準備学習の内容】			
予習のあり方: 指導案作成や教材研究など、実習で成果が出せるように準備する。			
学習のあり方: 本授業を実習と同じと捉え、欠席は認めない。積極的に学ぶ姿勢で臨むこと。			
復習のあり方: 復習のあり方: 実習での評価・反省をもとに自身への課題を持ち次へとつなげる。			
【成績評価】			
提出物(50%)、ワーク(50%)により総合的に評価する。			
【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】			
提出物・ワークの課題や教育実習(幼)の実習評価表から、幼稚園教諭を志す者としての自身の課題に向き合う。			
【テキスト】			
大元千種(監修)『書き方・あそび・保育のコツがわかる 実習の日記と指導案サポートブック』ナツメ社 夙川学院短期大学児童教育学科編『実習の手引き』			
【参考文献】			
文部科学省「幼稚園教育要領」フレーベル館			